

平成30年度第2回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：平成30年11月7日（水）10時から11時

開催場所：長野市役所第二庁舎10階 会議室201

【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 前回の議事録確認
- 5 議事
 - (1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料改定専門部会における意見及び審議経過について（報告）
 - (2) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（答申）
- 6 その他
- 7 閉会

【会議資料】

- ・資料1 一般廃棄物（ごみ）処理手数料改定専門部会における意見及び審議経過について（報告）
- ・資料2 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（答申）
- ・参考資料1-1 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて
- ・参考資料1-2 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて算出基礎資料
- ・参考資料2 一般廃棄物（ごみ）処理手数料見直しに伴う付帯意見について
- ・資料3 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（答申）
- ・第1回審議会議事録
- ・長野市ごみ処理概要（平成29年度結果 平成30年10月発行）
- ・長野市廃棄物減量等推進審議会名簿

【出席委員】 15名

【欠席委員】 0名

【事務局】 14名

【報道・傍聴者】 1名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

平成30年度第2回長野市廃棄物減量等推進審議会の会議開催に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

最近めっきり寒くなり、また、忙しい中出席いただき感謝申し上げます。

本日は、ごみ処理手数料の改定について、答申内容を決定したいと思う。

専門部会で審議し結果を本審議会として確認し、決定したい。専門部会で、ご尽力いただいた委員の皆さまにはお礼申し上げます。

本日はよろしく願います。（会長）

3 環境部長あいさつ

本日は、ごみ処理手数料の改定の答申についてご審議いただくが、専門部会の皆さまにおかれては、本当に熱心にご審議いただいたこと、心より感謝申し上げます。

特に、小木曾副会長におかれましては、専門部会長を務めていただいたことに加え、後でご紹介するが、本市と長野県立大学との連携事業においてもご尽力いただいた。重ねてお礼申し上げます。

最近または今後の環境部の取組についてご報告させていただく。

初めに、SDGsの公開学習会についてご案内する。11月13日(火)に、ながの環境パートナーシップ会議の主催により、SDGsの公開学習会を開催させていただく。SDGsという言葉は、お聞きになっているかと思うが、改めてご案内すると、2015年9月国連において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択され、今後15年間に人類の発展や地球の繁栄のために進めるべき行動計画が掲げられた。その目標が、Sustainable Development Goals SDGsである。その意味はなんとなく分かるものではあるが、より深く理解する必要、責任があると思ひ、ながの環境パートナーシップ会議において学習会を開催させていただく。お忙しい中ではあるが、まだ席に余裕があるので、都合が付く方は是非ご参加いただきたい。

続いて、先月に長野県短期大学で行われた六鈴祭について概略を報告させていただく。会議の後、時間が許せば、小木曾副会長に詳細をご紹介いただければと思う。

市では、災害備蓄クラッカーを2万食備えており、今年その半分の約1万食が賞味期限を迎え、入れ替える必要がある。食品廃棄物を削減する観点から、小木曾副会長に相談したところ、災害時を想定した料理のレシピを考案いただいた。考案に当たっては、小木曾副会長のゼミ生である長野県短期大学生の皆さんにおいてアイデアを出し合い、クラッカーをつなぎにした「中華風肉団子スープ」を考案いただいた。

そのスープが 10 月 20 日、21 日と開催された長野県短期大学祭「六鈴祭」でお披露目された。当日は、生活環境課職員も参加させていただき、クラッカーを備蓄しているだけでなく、有効活用しているという取組みについても啓発できたのではないかと思う。小木曾副会長とゼミ生の皆さんには、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

最後に、長野広域連合のごみ焼却施設について報告する。

10 月 17 日に、長野広域連合の焼却施設「ながの環境エネルギーセンター」の試運転が開始された。実際にごみも搬入し、焼却しながら試運転をしている。現在、トラブルもなく順調に進んでおり、平成 31 年 3 月に本格稼働となる。

それに併せ、清掃センターの名称についてご報告する。現在の清掃センターは、焼却施設、不燃ごみの資源化施設そしてプラスチック容器包装の圧縮梱包施設からなり、「清掃センター」と言うと焼却施設のイメージが強いと感じている。今後、「清掃センター」のままでは市民の皆さまに混乱を招くことが考えられたので、今後も残る資源化施設とプラスチック容器包装の圧縮梱包施設いずれも資源化を推し進める施設であることから、名称を「長野市資源再生センター」に変更したいと考えている。12 月の市議会定例会に改正案を出すよう準備を進めており、市民の皆さまに混乱が生じないように、広報ながのやごみ収集カレンダー等で周知していきたいと考えている。

最後に、まだ楽観はできないが、現在ごみ量は過去最低を記録する見込み。年度末には、委員の皆さまへ良い報告ができると思っている。

本日は、委員の皆さまの幅広い見識の中から、ご意見をいただければと思う。よろしく願います。(環境部長)

4 前回の議事録確認

事前に送付した平成 30 年度第 1 回審議会の議事録（要旨）の確認。修正箇所なしで承認。

5 議 事

(1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料改定専門部会における意見及び審議経過について（報告）

◇資料 1 「一般廃棄物（ごみ）処理手数料改定専門部会における意見及び審議経過について（報告）」及び資料 2 「一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について（答申）」により説明（事務局）

（水野委員） 家庭ごみ処理手数料の見直しポイント「1 世帯当たりの月額負担額に大きな変化はないか」であるが、平均的な負担額はいくらになっているのか？

（事務局） 参考資料 1 - 1 「一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて」の 10 シート目にお示ししている。1 世帯当たりの月額負担額は 276 円と推計している。

(須田委員) 資料2「一般廃棄物(ごみ)処理手数料の改定について(答申)」
9シート目の付帯意見にある食品ロスの削減と家庭ごみの分別の徹底は、市民一人ひとりが心がけるよう呼びかけていただきたい。

(事務局) 特に食品ロスの削減については、世界的な課題と認識している。しっかりと対応していきたい。

(2) 一般廃棄物(ごみ)処理手数料の改定について(答申)

◇資料3「一般廃棄物(ごみ)処理手数料の改定について(答申)」により説明(松本会長)

意見無し。市長への答申は11月13日(火)とすることで承認。

6 その他

- ・容器包装リサイクル法について、持参したチラシにより説明(徳武委員)
- ・10月22日に長野エコ活動推進本部の発足について報告。クリーン長野推進本部を解散し、新たに事業系ごみのリデュースを進めることを目的としている。(徳武委員)
- ・10月20日、21日に開催された長野県短期大学祭「六鈴祭」について報告。災害備蓄クラッカーを有効活用して中華風肉団子スープを販売した。クラッカーには糖分が含まれており、フライパンで加熱すると焦げてしまうことから、肉団子のつなぎにして蒸し、クラッカーの食感が残らないように工夫した。(小木曾副会長)
- ・本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。(事務局)

7 閉会

(11時閉会)